

第13回
2016年度

SONPO

小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

入選作品集



ご ■ あ ■ い ■ さ ■ つ



皆さん、こんにちは。日本損害保険協会の北沢でございます。本日は寒波の押し寄せる中、全国各地よりこの表彰式にお越しくださり誠にありがとうございます。

まずは、入賞されました皆さん、本当におめでとうございます。「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」は、今年で13回目を迎えました。年々このコンクールへの関心が高まっておりまして、今回はこれまでの数で最も多い19,158名の方々に参加いただき、2,871件ものマップが集まりました。本当にありがとうございました。

どの作品も、自分が住むまちをよく観察し、身の回りに潜んでいる様々な危険、リスクを探し出し分かりやすく地図にまとめた作品でございます。また、地域の人たちや消防・警察の方たちにもインタビューをしたり、あるいは、市役所で話を聞くなど、大人とコミュニケーションをとり、学んだことを丁寧にまとめた作品もたくさんございました。どれも大変よくできた作品なので、審査をされた先生方も、入賞作品を選ぶのにとてつご苦労された、頭を悩まされたと聞いています。

そうした素晴らしい作品の中で、今回受賞されました皆さんの作品はいずれもさらに素晴らしい作品でありまして、後方のロビーに皆さんの作品が飾られております。分かりやすいように色分けをしたり、あるいは写真やイラスト、フィルムやグラフを使ったりと、様々な工夫がされた作品でございます。きっと仲間同士で力を合わせて、一生懸命取り組んで作られたものだと思います。皆さん本当にありがとうございました。

さて、ここで皆さんにお願いがございます。それは、今回のマップ作りを通じて皆さんが気づいたこと、学んだことを家族や友達、そしてまた、近所の方にもぜひ教えていただきたいということです。

日本では、台風、地震、噴火、津波、洪水など、自然災害がたくさん発生しておりまして、各地で大きな被害が生じています。また、交通事故もまだまだ周りでたくさん発生しております。普段から身の回りの危険に気づき、こうした災害や事故から、どうしたら自分の身を守る事ができるのかを考えておくことは、とても大事だと思っています。

皆さんが「ぼうさい探検隊」を通して気づいたこと、学んだことを、まずは皆さん自身が普段の生活の中で活かし、そしてさらには周りの人たちに伝える事ができれば、皆さんの住む「まち」がもっともっと安心で安全になっていくと思います。ぜひ、よろしく願いいたします。



「ぼうさい探検隊」とは…



子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。子どもたちの「安心・安全への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの安全“共育”」が着実に深まり、コミュニティの強化にもつながります。

主 催

日本損害保険協会／朝日新聞社／日本災害救援ボランティアネットワーク

後 援

内閣府／文部科学省／警察庁／消防庁／気象庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／全国都道府県教育委員会連合会／沖縄県／アジア防災センター／児童健全育成推進財団／日本損害保険代理業協会

また、本日は、ご指導にあたられました先生方や団体の皆さまにも、この席上にお越しいただいています。「ぼうさい探検隊」の実施にあたりまして、皆さまには大変なご尽力をいただきました。誠にありがとうございます。皆さまの熱心なご指導の様子がどの作品にも強く伝わっております。皆さまの取組みに心より感謝いたします。

人々が日常の生活の中に潜むリスクに気づき、より安全な「まち」、安心して暮らせる社会をつくれるように取り組む事が大変重要だと思っています。そのためには、こうしたリスクに対する意識を子どもの頃から身に付けるという事が非常に重要でございます。学校教育の中では、2015年度から小学校3・4年生の社会科教科書の中で「地域安全マップ」という項目が新たに提起されました。また、2020年度から改訂されます次期学習指導要領案の中におきましても、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「アクティブ・ラーニング」の取組みを活性化していくこととされています。当協会がすすめております「ぼうさい探検隊」の取組みは、学校教育の中でも今後一層ご利用いただけるものではないかと思っています。

当協会としまして、「ぼうさい探検隊」をはじめとして、「ぼうさいダック」や「防災教育副教材」などのご提供を通じて、防災・安全教育の浸透へ一層の努力を続けてまいり所存でございます。今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、この活動に多大なるご協力を賜りました政府機関、関係団体の皆さま、そしてまた全国からこのコンクールにご参加いただきました皆さま、本日この場にお越しの皆さまに心から感謝を申し上げます。この活動が、今後も安心して安全な社会づくりに繋がっていくことを心から祈念いたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。そしてご入賞誠にありがとうございます。

2017年1月

一般社団法人 日本損害保険協会

会長 きたざわ としふみ 北沢 利文

(2017年1月21日開催 「第13回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール表彰式」主催者代表挨拶より)

第13回
2016年度

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

CONTENTS

- 審査の様子 2p
- 応募作品の傾向 3p
- 表彰式・審査総評 4～5p
- 入選作品紹介 6～27p
- 応募状況 28～31p
- 過去の入選一覧 32～33p

審 ■ 査 ■ の ■ 様 ■ 子

2016年度のコンクールでは、全国47都道府県の小学校や子ども会・児童館・少年消防団など、過去最多となる19,158人から2,871作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選17作品を決定しました。

審査員の方々からは、「それぞれの作品に良いところがあって、どれも甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童や地域の方々の思いがひしひしと伝わってきて、選ぶのが本当に難しい」といったご意見・ご感想をいただいています。

審査日程

事務局審査：2016年10月14日(金)～11月16日(水)

第一次審査：2016年11月22日(火)

本審査：2016年12月5日(月)

結果発表：2016年12月14日(水)

本審査の様子



本審査員

むろさき 室崎	よしてる 益輝	氏	神戸大学名誉教授・兵庫県立大学防災教育センター長
よしかど 吉門	なおこ 直子	氏	文部科学省 初等中等教育局健康教育・食育課 安全教育調査官
さや 佐谷	せつこ 説子	氏	内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)
なかの 中野	ゆうすけ 祐介	氏	消防庁 国民保護・防災部 地域防災室長
すずき 鈴木	のりこ 規子	氏	文部科学省 国際統括官付国際統括官補佐
にらさわ 蕪澤	ひろし 浩	氏	気象庁 総務部 情報利用推進課長
はぜ 土師	くによし 邦義	氏	一般社団法人 日本損害保険代理業協会 特命部長
おぼら 小原	ひろし 洋		株式会社 朝日新聞社 ブランド推進本部長補佐兼 CSR 推進部長
てらもと 寺本	ひろのぶ 弘伸		特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事
ふかだ 深田	かずまさ 一政		一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

応 ■ 募 ■ 作 ■ 品 ■ の ■ 傾 ■ 向

審査基準

地域性・テーマ性（地域固有の災害特性や問題点、まちの様子や特徴）

地域の災害や危険な場所を想定した作品作りができているか
 地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

ビジュアル性（地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫）

色や写真、イラストを効果的に使用しているか
 多くの人に見やすく、わかりやすい作品になっているか

提案性（子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提言）

子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
 マップを通して伝えたいことが明確になっているか

教育効果性（子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成）

マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
 地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

地域性・テーマ性（地域災害の特性や問題点など）

■第12回では「防災」をテーマとする作品の割合が高く、「防犯」「交通安全」それぞれをテーマとする作品はほぼ同じ割合であった。第13回では「防災」の割合がさらに増加した。

■「防災」をテーマとした作品の中では、水害・台風・豪雨等の自然災害をテーマに取り上げ、津波を警戒して海拔や浸水範囲、高台へ逃げるルートなどを確認している作品があった。まちなかの消火栓・消火栓などの点検にとどまらず、防災訓練などを盛り込み、総合的な防災学習として取り組んでいる作品もあった。

■「防犯」をテーマとした作品の中では、「子ども110番」の家・店、死角エリアをマップにまとめた作品が多くあり、防犯標語である「いかのおすし（いかない、のらない、おおきな声で呼ぶ、すぐ逃げる、しらせる）」を紹介するなど、不審者への注意を促す作品もあった。

■「交通安全」をテーマとした作品の中では、自動車の交通量を調べた作品や、通学路の危険箇所を指摘し、道路横断時には左右の確認が欠かせないことを再確認する作品が多かった。中には過去に交通事故が起こった箇所を紹介する作品もあった。

ビジュアル性（地図としての工夫など）

■「安全な場所」や「危険な所」を色で区別したり、各種マークの凡例が上手に整理されている。

■透明なフィルムを使用して、津波発生時の浸水地域や昼夜の違いを表すなど、視覚で訴える工夫をしている作品もあった。

■発見のコメントや感想などは付箋を使うことに加え、メモの折りたたみ方・めくり方で楽しく見せる工夫をしている作品が多かった。

提案性（子どもの視点でのまちへの提言など）

■全体的に、調べたことをそのまま記載するだけでなく、自分たちの気づきを表現し、マップを見ている人に「なぜ危ないのか」、「どうすれば安全になるか」などを呼びかける作品が多かった。

■市区町村長や自治体などに対して、具体的な「提言」、「改善策」などを書いた作品が多く、改善要望が実現できたことを報告している作品もあった。

教育効果性（子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化など）

■自治体や消防署、地域の方々などにインタビューを実施した団体が多くあり、インタビューによって新たな発見や意識の変化が生まれた作品もあった。

■インタビュー先を多く設定したり、地域の過去の状況を調査してまとめるなど、ていねいで、かつ、熱心に取り組んだことがうかがえ、このまま地域の安全マップとして活用できると思える作品が多かった。

■低学年と高学年の混成チームで活動したケースや、幼稚園児が参加したケース、中学生・高校生がリーダー役として参加したケースも多く見られた。年齢層に応じた役割分担が行われる高い教育効果が感じられた。

表・彰・式

2017年1月21日(土)、東京都・千代田区御茶ノ水の損保会館2階大会議室で、第13回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式が行われました。



審査員長、各賞のプレゼンター、代表児童、指導者の方々が揃って記念撮影



賞状を受け取る表情は、どなたも誇らしげです。インタビューでは、皆さん緊張しながらも、堂々と受け答えされていました。

審 ■ 査 ■ 総 ■ 評



審査員長

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授

兵庫県立大学 防災教育センター長

今回も皆さんの作品についてお話させていただきます。

1つ目、今年の審査はとても大変でした。どれも素晴らしいので、本当はここで紹介された作品以外すべてを紹介させていただきたいところですが、今日は、入賞した9作品以外の(審査員特別賞)8作品について、私なりに紹介させていただきます。(略)

なぜ審査員特別賞の作品を紹介したかと言うと、今日、表彰式に来られた団体だけではなく、佳作などに入賞した団体も素晴らしい、もっと言うと、ここに登場していない団体の作品はもっと素晴らしいかもしれない、これがぼうさい探検隊マップコンクールの力だと思えます。今日会場にみえた児童の皆さんだけでなく、全国から応募いただいた皆さんに心から御礼を申し上げたいと思えます。

2つ目、今年は「かみしばい」という話をします。これは全体の講評にもなります。ぼうさい探検隊マップコンクールは素晴らしいと言ったのですが、これには「か」、「み」、「し」、「ば」、「い」という5つのポイントがあると思っています。

「か」は、「からだで感じて考えること」です。食べてみたりとか、触ってみたりとか、聞いてみたりとか、歩いてみたりとか、からだで感じるということがマップのいいところです。

「み」は、「みんなでいっしょに取り組むこと」とか、「みんなで考えて行動すること」です。6年生と1年生、あるいは3年生、ひよっとすると6年生と1年生の動いている周りに中学生、大学生、おじいちゃんがいっしょにいたりするなど、みんなで取り組むということです。

「し」は、「調べて理解をすること」です。津波がいつ来るか時間を調べたり、音が聞こえるかを聞いてみたり、避難所に行くまでの時間はどれくらいか歩いてみたり、今回一番ユニークだったのは、道路の幅と消防自動車の幅を比較して、消防自動車を通るには道路の幅がこれ位ないといけないということを調べていたマップです。調べるということがとても重要です。

「ば」は、「バトンを受け継いで繋いでいくこと」です。バトンというのは、まちの中を歩いてお父さん、お母さん、おまわりさん、消防士さんなど、色々な大人に話を聞いて昔のこととしてバトンを受け継ぐ。そして、受け継いだバトンを今度は市長さんに提案したり、地域

の人に提案したりしてバトンを渡す。バトンを受け継いでバトンを渡すということが今回のマップではとてもよく出ていました。

「い」は、「イメージでアピールする」ことです。英語が入っているので小学生には難しいかもしれませんが。きれいな絵であるとか、形、すなわちイメージを作って、アピールする。アピールというのは主張する、提案することです。

以上のとおり、「かみしばい」の要素は、今回の全ての作品に盛り込まれています。

最後に、今回のコンクールで私が嬉しいと思ったことを3点お話しします。

1番目は、2,871作品の応募がありこれまでで最高だったことです。私は前にも言ったとおり、3,776作品を超えたいと思っています。1つの作品は大きさが約1メートルです。3,776点出てきたら、富士山の高さになります。富士山を乗り越えたいと思っていますが、今は富士山の8合目です。8合目まで来たのでもう一踏ん張りです。来年か再来年には富士山を越えたいと思うので、皆さん、ぜひ周りの友達にも声をかけて、我がまち全体を挙げて取り組んでください。

2番目は、第1回目から今年の第13回目まで、のべ15万人の小学生がこのマップコンクールに関わったということです。全国の小学生から比べるとまだまだですが、それだけ多くの小学生が地域の中を歩いて災害のこと、防災のことを考えてくれた、これが嬉しかった、素晴らしいということでした。

3番目、岩手や宮城からたくさんの作品の応募がありました。水害があった北海道からもたくさんの作品が出ました。また、広島からも5作品が出ています。まさに被災地から子どもたちの作品が出るようになった。そういう意味では、子どもたちが被害から立ち直って元気になりつつあるということがメッセージで、そして作品の応募から理解できるのです。

今年は、地震のあった熊本や鳥取からの応募がすくすく少ないのです。そこで来年は、熊本や鳥取からたくさんの応募があって、被災地から元気に立ち上っていく姿を見たいと思っています。

以上、被災地からたくさんの応募があったことをとても嬉しく思っています。

最後に、第13回の素晴らしい作品に私も触れることができました。第1回から13回も委員長を務めており、もうそろそろという人がいるかもしれませんが、私はやめられないのです。とても楽しくて夢があって、素晴らしい仕事をさせていただいております。以上、感謝を申し上げて講評に代えさせていただきます。



文部科学大臣賞

三重県鳥羽市安楽島子ども会 安楽島キッズ探検隊

学年 1～6年生

人数 13名

防災

安楽島ぼうさいMAP
あらしま

半鐘は避難の合図！ 2016.10.10
なるか実験調査

●音は伝音管の中を伝わります。
●音の届く範囲は、壁や扉などによって変わります。
●音の届く範囲は、壁や扉などによって変わります。
●音の届く範囲は、壁や扉などによって変わります。

てんぐ山(海拔224M)
●てんぐ山の山頂は、避難場所です。
●防災避難所は、避難場所です。
●避難場所には、避難場所です。

時間	場所	内容
1	安楽島	避難場所の確認
2	安楽島	避難場所の確認
3	安楽島	避難場所の確認
4	安楽島	避難場所の確認
5	安楽島	避難場所の確認
6	安楽島	避難場所の確認

安楽島キッズ探検隊

安楽島児童会-結果	町の人数	探検隊	合計
半鐘の音	21	11	32
聞こえなかった	45	5	50

防災無線を調べた通風のマップ

1300名

141名

安楽島キッズ探検隊

ぼうさい探検を終わって

●防災無線が使えなくなった時に、半鐘で避難を伝えることができないのは大変危険です。●ぼうさい探検隊は、防災無線が使えない時に、半鐘で避難を伝えることができないのは大変危険です。●ぼうさい探検隊は、防災無線が使えない時に、半鐘で避難を伝えることができないのは大変危険です。

VOICE

＼喜びの声／



チーム児童のみなさん

毎年防災MAPの完成を楽しみにしていました。今年自分たちが作ったMAPが文部科学大臣賞に選ばれたことはとても「神ってる！」と思いました。

これからも次の世代へ引きついでいき、安楽島というまちをたくさんの人に知ってもらえれば良いなと思いました!!

指導された
浜口 喜久弥
さん

今回は防災無線サイレンの故障を想定して昔に使用していた「半鐘」に着目しました。

災害が起きた時に半鐘がどのような役割をはたせるのか、子供たち、地域の人々と共に考える良いきっかけになりました。ありがとうございました。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

防災無線が使えなくなった場合に、半鐘の音が避難の合図として有効かどうかを実験・調査しており、テーマが明確でわかりやすい。

ビジュアル性

半鐘の音が聞こえた場所と聞こえなかった場所はどこかが強調されている。地図の色を分け、写真の凡例もついているため見やすい内容になっている。

提案性

調査の結果、半鐘は防災無線が使えない際の代替手段として使えることや、看板の活用などの正しい情報伝達システムを学んだことが伝わる内容となっている。

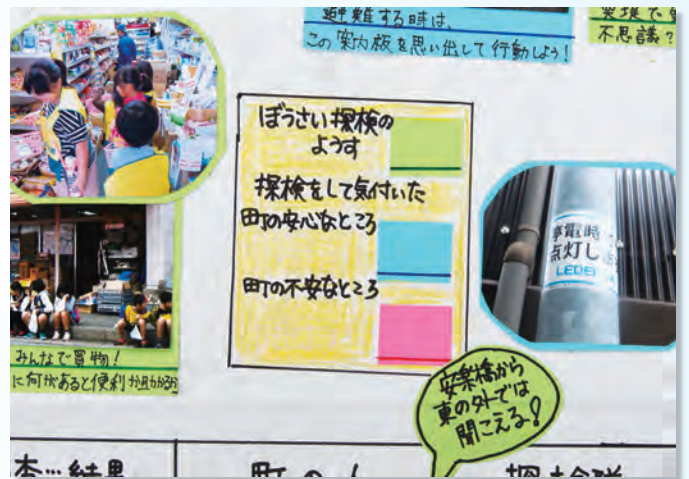
教育効果性

拡声器のサイレンはどうか、風向が違う日に調査してはどうか、沖にいる漁師にも聞こえるかなど、地域での探検・調査活動が定着しており、まちの人々が子どもたちに期待している様子うかがえる。

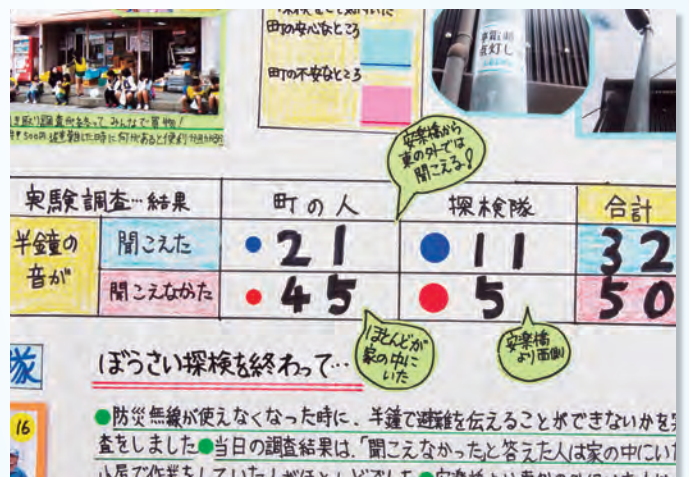
ZOOP UP!



ZOOP UP!



ZOOP UP!





防災担当大臣賞

愛媛県愛南町立中浦小学校 中浦っ子みんなの命守り隊 尻貝チーム

学年 3, 5, 6年生

人数 6名

防災



VOICE

＼喜びの声／



チーム児童の
みなさん

「ナイトマップ」が、素晴らしい賞をいただき、驚きと喜びでいっぱいです。この夜間の避難のためのマップが、地域の方の役に立ってほしいなと思います。今後も、さらに課題を見付け、よりよいマップを作りたいです。

指導された
前田 和美
さん

児童は、「夜間の避難に不安を感じる」という地域の声を受けて、マップを作りました。昨年度の取組みを生かしながら、目的意識をもって取り組めたと思います。これからも、地域と共に防災・減災学習を進めていきたいです。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

「夜でも高台へGO」というテーマで、マップ全体が夜をイメージして作られている。

ビジュアル性

危険な場所を「危」と表記していたり、街灯がある場所や側溝の危険ゾーンも表示されている。避難経路も矢印で書いてあり、わかりやすい。

提案性

夜間に地震が発生した場合、昼間と違ってどのように行動すべきか、どんな注意点があるのかという視点そのものが提案となっている。また、夜間の統計データを利用して、地域の問題点を把握している。

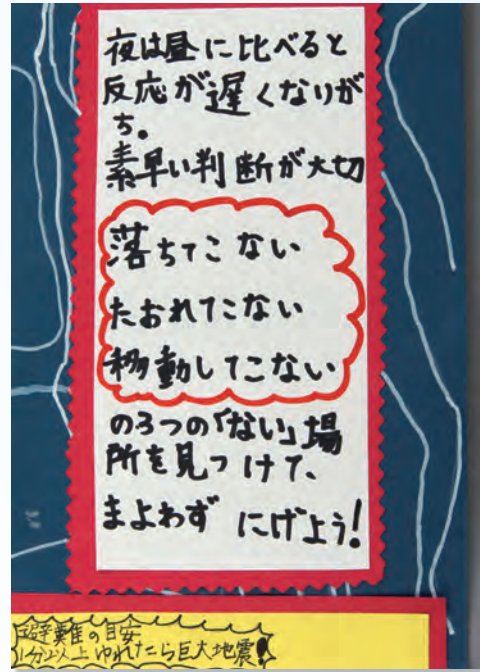
教育効果性

メンバー各自の家と、独居老人のいる家について詳しく調査している。また、地震発生からどの位で津波がくるのか明らかにしていたり、非常持ち出し袋に入れるべき項目のチェックリストがまとめられている。

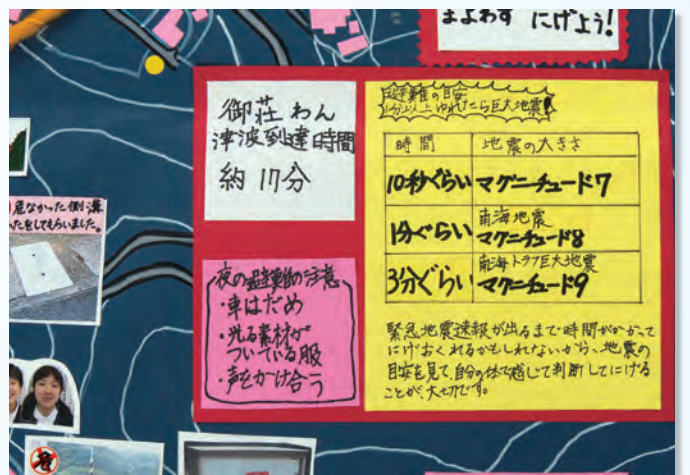
ZOOP UP!



ZOOP UP!



ZOOP UP!





消防庁長官賞

東京都本^{ほん}田^{でん}消防少年団 本^{ほん}田^{でん}消防少年団

学年 1～6年生

人数 41名

防災



VOICE

＼喜びの声／



チーム児童の
みなさん

すばらしい賞をいただきありがとうございます。防災マップを作りながら、スタンドパイプの使い方を覚えたり、町会で発表させていただいたり貴重な経験ができました。今後も少年団のみならずと防火防災の活動を続けていきます。

指導された
伊藤 嘉里
さん

東京都葛飾区には木造密集地域があり、消防車の入れない路地等できかに被害を軽減できるかを学習してきました。低学年の子供たちには難しい内容もありましたが、この経験を通して地域の防災の担い手に育ってほしいと思います。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

テーマを絞って、木造密集地域で消火栓からホースを伸ばしたときに届かない範囲を調べており、消防少年団ならではの防災マップとなっている。

ビジュアル性

耐火建物と木造建物に分けて家のマークを作っていたり、ホースが届く距離を調べて届かない範囲を表現するなど、わかりやすく工夫して作っている。

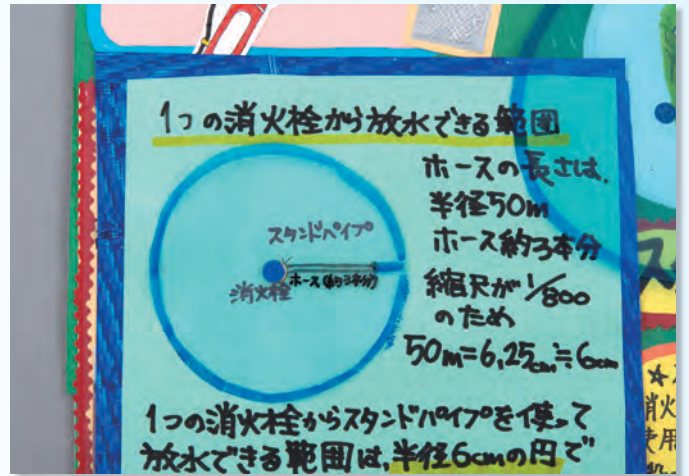
提案性

消火作業時の危険地区や危険性を調べてマップに記載しており、消防少年団ならではの提案がされている。

教育効果性

マップをまちの人々に発表した後、危険な場所の対策についてまちの人々と話し合い、共有したことがうかがえる。

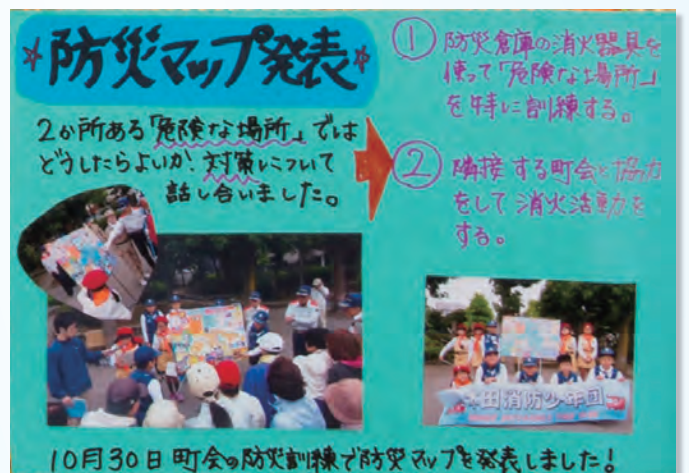
ZOOP UP!



ZOOP UP!



ZOOP UP!





まちのぼうさいキッズ賞

(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

愛媛県愛南町立家串小学校 家串スターズ

学年

3, 4年生

人数

6名

防災



VOICE

＼喜びの声／



チーム児童の
みなさん

ぼくたち「家串スターズ」は自分のこと、家族のこと、そして地域のことを考えて、防災マップを作りました。できあがったマップが、素晴らしい賞を受賞することになり、とてもうれしいです。みんなで喜びを分かち合いたいです。

指導された
松田信
さん

防災への意識を高めたくて防災マップ作りに取り組みましたが、子どもたちの「気づき」や「発見」から、私自身が「命を守る」ことについて多くのことを考えさせられました。今後は地域に向けて発信し、地域の防災意識の向上に役立てていきたいです。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

南海トラフ地震が発生したら、津波で命を落とさないためにどう逃げるのかというテーマに絞っており、見た人が自分で考えられるマップとなっている。

ビジュアル性

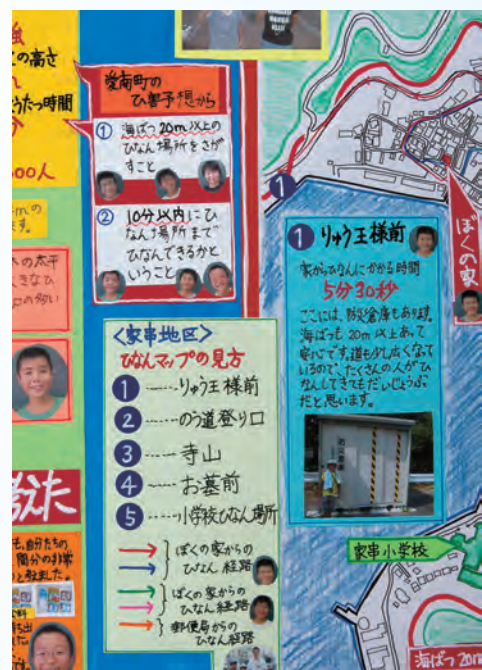
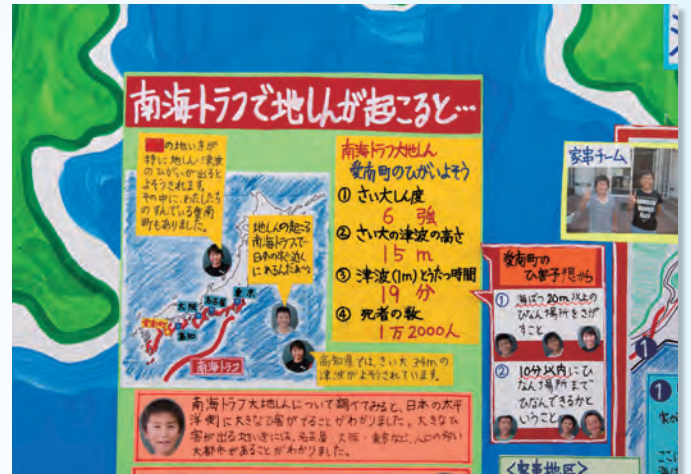
集落の状況を拡大して見やすく、また、津波の到達時間も書いており、地震が来たらすぐ逃げなければならない地域であることが伝わる。

提案性

土砂崩れなどにも気をつけながら逃げる必要があることが表現されており、このまちの中でどう命を守っていくのか、命を守る行動をどうとっていくのか、わかりやすく伝わってくる。

教育効果性

住んでいる場所から避難場所までの所要時間を計測したり、夜になると真っ暗で何も見えないという状況について写真を撮影して検証したり、しっかりと調査されている。





気象庁長官賞

石川県かほく市子ども会高松支部内高松子ども会 内高松子ども会

学年

6年生

人数

2名

防災

津波
かほく市の防災マップでは、大津波警報での予想の高さは10m程度。内高松は海方向に海抜が229mの高台があるため、津波による被害は受けにくいと予想する！

水害
昔から大雨が降ると、大谷川と農業用水の水があふれて、田んぼや住宅がしん水を被る被害が頻りに発生している。2方向の高台にはさきまていざ日からも大量の水が流れ込むことも洪水の1因と考える。昔は川が深く流れもゆるやかなためあふれやすかたようだが、平成に入り大谷川の改修工事が行われ川は加広がり深くなり、それ以降上流の地域での水害はほとんどなくなった。しかし、大谷川と農業用水が合流する下流では、堤防が崩れることも重なり洪水の被害は発生している。

地震
かほく市は、津輪、金沢、白山市にまたがる嶺南断層帯と、七尾から中能登町にかけての断層帯が、かほく市にまたがる色部断層帯の影響を受ける。もしこの断層帯で地震が発生すると震度7クラスの地震が起る可能性がある。今後30年間に地震が発生する可能性が高いグループに入っている。

土砂災害
内高松には土砂災害警戒区域特別警戒区域が2ヶ所ある。
① 神社向い、斜面280m区間
② アクロス斜面200m区間

内高松の地形
海抜が13mから44mの平地に住宅や農田が多い。この平地をほらまのように、東西に高台がある。海方向の高台は海抜が229m。山方向の高台は海抜が43.5m。町内には、2本の川(大谷川、農業用水)が縦断している。

火災
町内には、火災にそなえて消火栓が多数設置されている。右の緑色のホースを消化栓につけて消火活動ができる。

内高松の特徴
内高松は人口の3割が高齢者なので、災害時や避難時は危険。近所同士の高けが重要。高い建物がない → 高い建物が倒れる心配がない。となり同士の家が → 建物がおくても近くない。建物がおくても他への被害が拡大しにくくなる。

防災マップを作って
かほく市は自然災害が全国平均より少なく住みやすい所だと思われ、そのため、大丈夫だと思、てい、というときのための準備ができていないかもしれない。調べてみてみると、自然災害が起るとおそろしく怖いことが分かった。災害は、思わぬことある。例えば、地震の後に、水害が起ると、土砂くずれが起ることもある。自分たちでできることを考えていきたいと思った。

VOICE

喜びの声



チーム児童のみなさん

指導された道下晴美さん

小学校最後の作品が素晴らしい賞に選ばれ驚いています。防災マップを作る為、いろいろ回りました。知らなかったことがたくさんありました。調べたことをくわしくマップにまとめたので、地区でも活用してもらとうれしいです。

今回防災マップを作成するにあたり、地区を回ったことで、日頃気づかない発見がたくさんありました。今回の活動で子供たちも防災の意識を高めることができ、大変よい経験となりました。本当にありがとうございました。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

地震・津波・水害・土砂災害・火災と様々な視点でまとめており、色々な災害の危険を持っている地域であることがテーマとなっている。

ビジュアル性

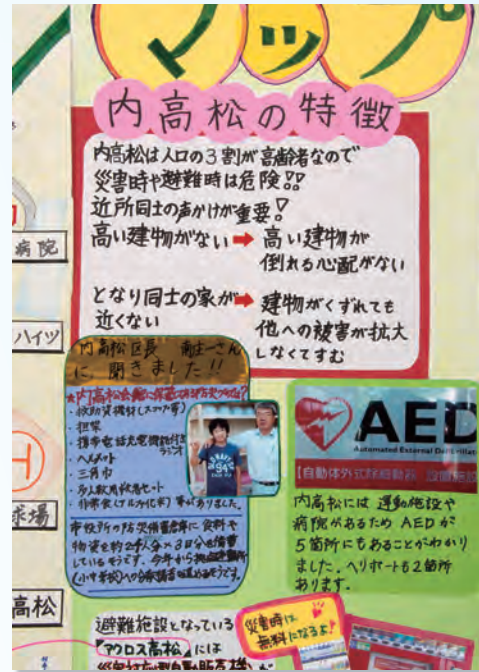
必要な情報を絞ってまとめることで、この地域のランドマークや位置関係、場所がわかりやすく表されている。また、大雨に注意するところ、土砂災害に気をつけるところ、避難場所などがコンパクトにまとめられている。

提案性

あらためて整理された情報として、まちの人々に向けて提供できるマップとなっている。

教育効果性

まちを歩いて地質や地盤を調べたり、区長へのインタビューを通じて、様々な災害の危険と隣り合わせの地域であることに気がついた様子が伝わってくる。



ZOO
UP!



ZOO
UP!



ZOO
UP!



キッズリスクアドバイザー賞

(日本損害保険代理業協会賞)

東京都富士見キッズ あおみどり 青緑チーム

学年

3年生

人数

3名

防災・防犯・交通安全



VOICE

喜びの声



チーム児童の
みなさん

初めての応募で賞がとれて嬉しいです。地域の皆さんから防災についてのお話を聞いたり、学校の備蓄庫を見せてもらえたことがとても勉強になりました。非常食の試食や公衆電話のかけ方を体験したのも楽しかったです。

指導された
平岡 三和子
さん

通学路という通い慣れた道を、3時間かけて、目耳頭を澄まして探検し、改めて危険な所と見守られている安心を実感しました。学校での学習を活かした夏休みの宿題が初出展での受賞。ご協力下さった方にお礼を申し上げます。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

通学路で気付いたことをテーマとしており、調べた内容は防災・防犯・交通安全と多岐にわたっているが、わかりやすく、かつ、地域性が表れている。

ビジュアル性

シール使いや色分けが工夫されており、どこに何があるかわかりやすくまとまっている。楽しそうにまちを歩いてマップづくりをした過程が伝わってくる。

提案性

区役所の人へのインタビュー内容や、「避難所の一つ持っていくなら」というまとめを通じて、自分たちにできることを提言している。

教育効果性

多くの場所に足を運んでインタビューや施設のチェックをしており、丁寧にまちを調べている。非常食を作ったり、公衆電話を使ってみるなど、実体験を通じて学習している様子が見えがえる。

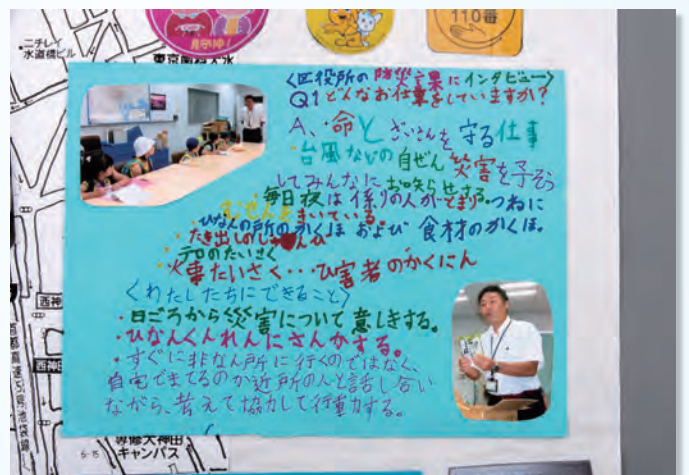
ZOOP UP!



ZOOP UP!



ZOOP UP!





未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

沖縄県糸満市立糸満南小学校 糸満南っ子ちゅらさん探検隊

学年 年中, 4, 5年生

人数 5名

防犯



VOICE

＼喜びの声／



チーム児童の
みなさん

仲良く5人で賞をとれたのがとても嬉しいです。まち探検でインタビューし、この地域には優しい人がたくさんいることがわかりました。安全・安心・明るい糸満のまちになるようなマップを来年も力を合わせて作りたいです。

指導された
上原之映
さん

このメンバーで安全マップに取り組み3年、毎年頑張っているメンバーと、協力して下さった地域の皆さま、危険箇所の報告を受け改善に取り組んで下さった市役所と警察署、関係者の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

地域が抱える問題を防犯・安全の視点でまとめており、自分たちのまちのための大事なテーマとして、見た人があらためて理解し、共感できるマップになっている。

ビジュアル性

安全な場所と危険な場所が一目でわかるように、水色や赤色を使って区別されており、また、写真を活用することで、まちのランドマークを見やすく表している。

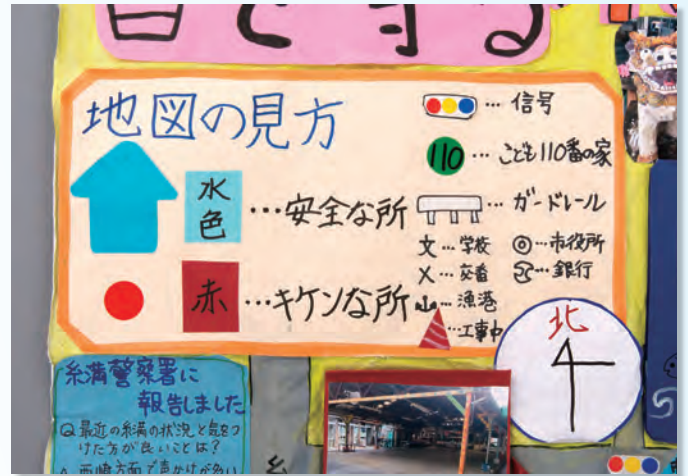
提案性

子どもたちならではの視点で考えた、身近ですぐにできる改善策や提案を、「みんなでやろう防犯対策」として数多くまとめている。

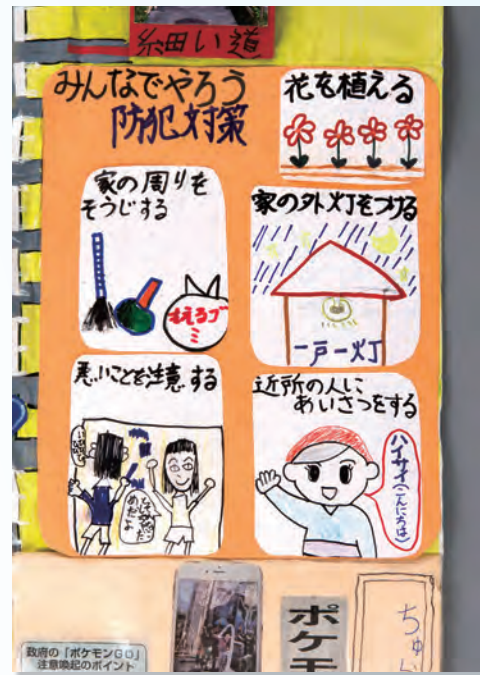
教育効果性

まちの人々にアンケートやインタビューを行った結果が示されており、まち歩きを通じて地域の実情を調べ、理解した様子が伝わってくる。

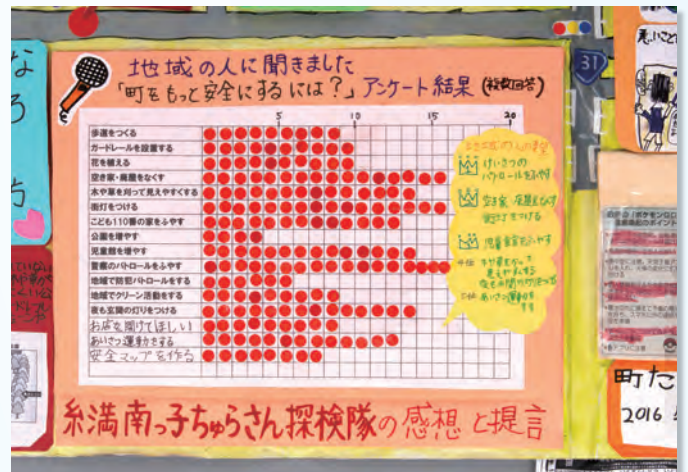
ZOOP UP!



ZOOP UP!



ZOOP UP!





わがまち再発見賞

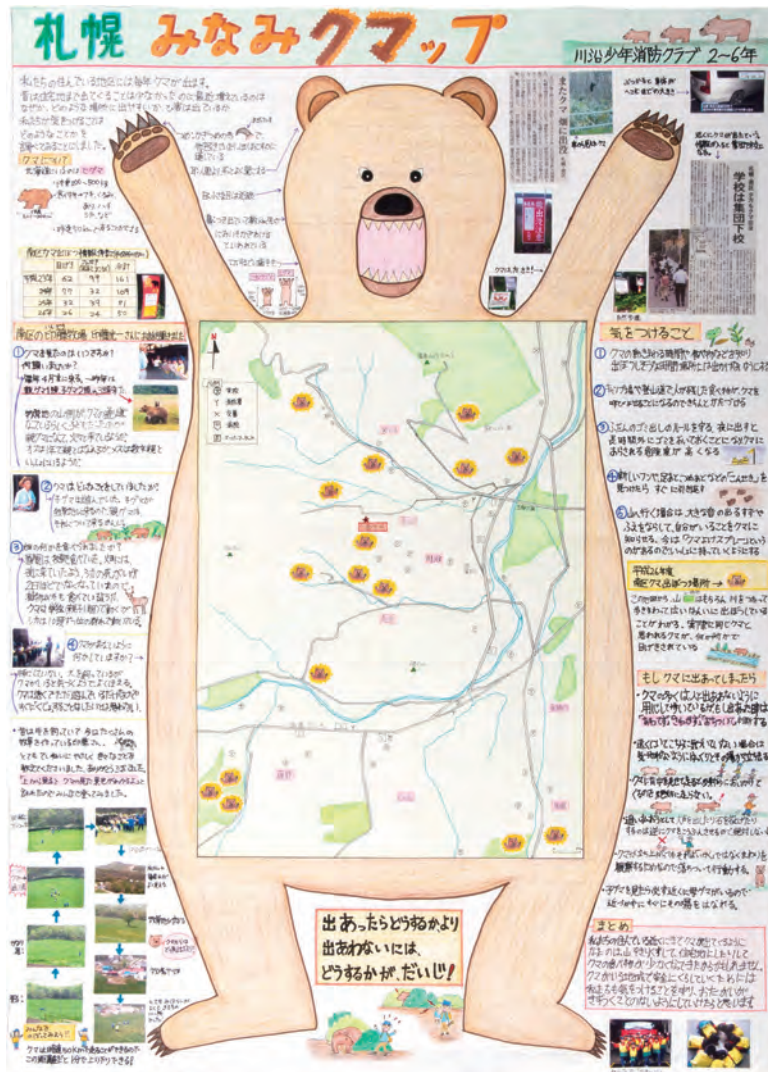
(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

北海道札幌南区川沿少年消防クラブ みなみクマ調査隊

学年 2～6年生

人数 12名

防災



VOICE

＼喜びの声／



チーム児童のみなさん

わがまち再発見賞を受賞することができてすごくうれしいです。みんなで大喜びしました。自分たちで足を運んで、聞いたり調べたりしたので、この地図が地域の方に少しでも役に立てたらいいと思います。

指導された塩見素子さん

近くの牧場でお話を聞き、地域の方にもっとクマについて知りたいと思い、わかりやすく見やすいマップを作ろうとみんなで頑張りました。このような賞をいただき大変嬉しいです。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

最近のまちの被害状況に着目してテーマを「熊」に絞っており、わかりやすく、かつ、地域性が表れたマップとなっている。

ビジュアル性

スケール・方角・凡例など、マップに必要な情報が選択されてまとめられており、こういったところに熊が出没するのか、シンプルでわかりやすく示されている。

提案性

普段どんなことに注意して、もし熊と出会ってしまったらどうしたらよいか、あらためて熊の危険性を認識させる内容となっている。

教育効果性

熊に遭遇された牧場の方へインタビューをしたり、新聞記事の情報をまとめることで、熊の出没は身近な危険であることを訴えている。また、調べた熊の特徴をイラストでわかりやすく伝えている。

ZOOP UP!



ZOOP UP!

年次	目撃数	被害件数	合計
平成23年	62	99	161
24年	77	32	109
25年	32	39	71
26年	26	24	50

南区の印藤牧場 印藤北一さんにお話を聞きました。

①クマを見たのはいつですか？
何頭いましたか？
→ 毎年4月末に来る。一昨年は親グマ1頭、子グマ2頭の3頭来た。
牧場の山側が、クマの通り道になっていらいくともたつたのが親グマになって、次々来ていふた。オスは1年で親とはなれるが、メスは数年親といらいふようになる。

②クマはどんなお話をしましたか？
→ 子グマは遊んでました。子グマが牧場に來るの、親グマはそれについて来るのらしい。

ZOOP UP!

自然歩道

気をつけること

- クマの動きあまる時間や食べ物などを知らずに出歩いたら、時間場所には出かけた方がいい。
- キャンプ場や登山道で人が残した食べ物や、クマを呼びよせることになるのできちんと片づける。
- ゴミのゴミ出しのルールを守る。夜に出すと長時間外にゴミを置いておくことでクマにさらされる危険度が高くなる。
- 新しいブーツ、足あと、つめあとなどの「ごんせき」を見つけたら、すぐに引き返す。
- 山に行く場合は、大きな音の出るすずやふえをならして、自分がいることをクマに知らせる。今は「クマレスプレー」というのがあるのでいっしょに持って行くようにする。

平成26年度
南区クマ出づつ場所 →
この地図から、山 はもちろん、川をたつて



ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

広島県亀崎学区少年消防クラブ 亀崎学区少年消防クラブ

学年 年長・3～6年生

人数 16名

防災



VOICE

喜びの声

主催：内閣府／文部科学省／環境省／消防庁／気象庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／全国沖波連／アンパ防災センター／広島健全育成推進財団／日本損害保険代理業協会



チーム児童のみなさん

現地で多くの人に話を聞いて土砂災害のおそろしさを知り、防災の大切さを考えることができました。

大変だったけど、がんばって作成したマップが賞に選ばれてうれしいです。あの日を忘れず、これからも防災について学んでいきます。

指導された芳岡 玲華さん

平成26年8月20日、私たちの暮らすまちで多くの土砂災害が発生しました。「あの日を忘れない」をテーマに、子供たちと災害の恐ろしさ、守る行動を一緒に考えながら学ぶことができました。協力して下さった皆さまに感謝しています。

評価されたポイント

地域性・テーマ性

豪雨による土砂災害がこの地区でどのように起きたのか、「あの日」を忘れずに後世に伝えていく役割を果たすマップとなっている。

ビジュアル性

どこで土砂が崩れたのかが一目でわかるようにまとめられており、水害や土砂災害の恐ろしさが伝わってくる。

提案性

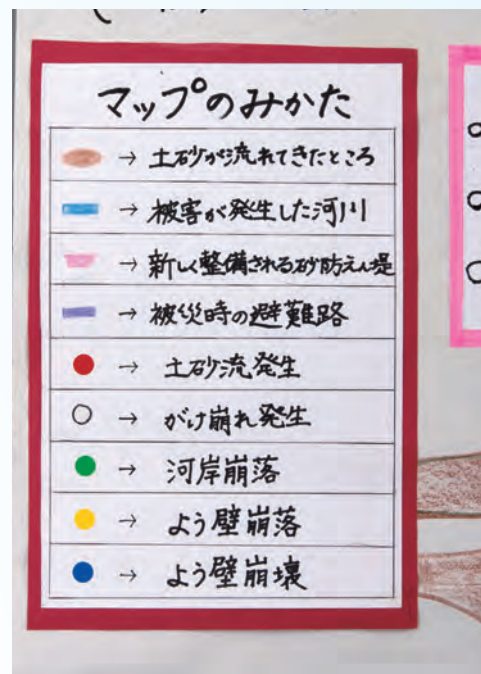
この地域は水害や土砂災害に注意しなければならず、避難時はどこに注意してどう行動すればよいか、まちの人々がまちのリスクを理解して共有できるマップとなっている。

教育効果性

「あの日」についてまちの人々にインタビューを行い、災害時にどういった現象が起きたのか細かく調査されている。まち歩きを通じて、住んでいる地区の危険箇所や、どう行動すべきか学んだ様子が見える。



ZOOP UP!



ZOOP UP!



ZOOP UP!



審査員特別賞

福島県相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ

かもめ防災探検隊

学年 3年生

人数 10名

防災



評価されたポイント

地域性・テーマ性

東日本大震災後の避難所調べについてテーマを絞っており、わかりやすい内容でまとめている。

ビジュアル性

色使いによって、まちの様子がわかりやすく表現されるよう工夫している。震災後、どこがどう変わったのか、写真も活用し、よく表現されている。

提案性

避難が間に合わない場合の避難場所として、行政指定されていない高台を提案しているなど、震災教訓を活かした提言や感想がまとめられている。

教育効果性

多くの場所に足を運び、震災当時のインタビューを行っているとともに、過去の教訓に従って避難したことで命を守った事例について、情報を整理してまとめている。

VOICE

喜びの声

チーム児童のみなさん

多くの作品の中から入賞し、とても嬉しく思います。マップ作りを通して震災当時を振り返りながら避難場所を再確認し“自分の命は自分で守ろう”という意識がより強くなりました。

指導された和田しおりさん

大震災から5年9ヶ月が経ち、復興も進み浜っ子たちにも笑顔が出て来たところに今回の受賞！子ども同志で抱き合い拍手をする等、心から喜びを表現している姿に指導者としてとても嬉しく思いました。本当にありがとうございました。

神奈川県ガールスカウト神奈川県第53団

GS KANAGAWA 53

学年 1~4, 6年生

人数 12名

防災



評価されたポイント

地域性・テーマ性

崖地や急斜面にポイントを置いてまちを調べており、このまちで暮らす上での問題点やまちの特徴について、テーマを絞って明らかにしている。

ビジュアル性

凡例をつかっているほか、写真が立体的に見えるように加工されているなど、崖地であるまちの特徴が見やすく、わかりやすく表現されている。

提案性

まちの未来として、エスカレーターや移動デパートがあればいいなど、子どもならではの発想でまちへの提言を行っている。

教育効果性

景色のよさと裏腹なまちの危険について、熱心に歩いて調べたことでさらに理解を深めた様子が伝わってくる。

VOICE

喜びの声

チーム児童のみなさん

6年生にとっては最後のコンクールだったので、入選したと聞いた時は本当にうれしかったです。急斜面崖地をどう表すか、みんなが気づいたことをどんな言葉でまとめるか…など苦労しましたが、頑張ったかいがありました。

指導された外山薫さん

10年間継続してマップに取り組んできて災害に対する危険予知力が子どもたちについてきている様子が見られます。1年生から6年生が共に関わることにより様々な視点での話し合いがされ、マップ作りも各々できる事を担当して頑張りました。

石川県かほく市子ども会宇ノ気支部 指江子ども会 指江子ども会

学年 **6年生** 人数 **9名** 防災



評価されたポイント

地域性・テーマ性

「自分たちにできること」についてテーマを絞ってまとめており、わかりやすい。まちの特徴や歴史について最初に書かれていることで、マップを見る前にまちの様子が伝わる。

ビジュアル性

まちのランドマークを記載することで、必要な情報をポイントとしてシンプルにまとめており、見やすいマップとなっている。

提案性

昔と今のまちの違いを認識し、まちの課題と対策について「自分たちにできること」を提案・発信している。

教育効果性

過去の水害の歴史や昔のまちの様子など、まちの人々へのインタビューを通じてよく調べて学習した様子がうかがえる。

VOICE

喜びの声/

チーム児童のみなさん

みんなで楽しみながらもしっかりと考え防災マップをうまく仕上げられ、さらにとてもすばらしい賞をもらったのでよかったです。

指導された岡島外志さん

暑い中みんなで楽しく写真を撮ったり、メモを書きながら地区を散策しました。何回も集まり一つの地図を完成させた喜びは思い出になりました。

大阪府堺市立東深井小学校放課後ルーム 東深井 sister's

学年 **4～6年生** 人数 **6名** 防犯



評価されたポイント

地域性・テーマ性

防犯の視点で、歩道や車道など、このまちならではの課題を見つけている。

ビジュアル性

文字にインパクトがあり、どのような所が危険なのかわかりやすく表している。また、マップに表現されたまち並みから、一生懸命作った様子や、普段の楽しいまちの様子がよくわかる。

提案性

まち自体がバリアフリー化されていない、道が狭い、といった問題を「市長さんへのお願い」としてまとめている。

教育効果性

「取材コーナー」や「交番」から、インタビューを通じてまちの人々とコミュニケーションをとりながら学習した様子が伝わってくる。

VOICE

喜びの声/

チーム児童のみなさん

夏休みに6人でマップ作りを始めて、取材・現場検証を行い、少しずつ形にしてきた私たちのマップが、審査員特別賞をもらえて、とても嬉しいです。この体験を忘れずにみんなに防災の大切さを伝えていきたいです。

指導された大谷智美さん

防災マップの作成にご協力いただいた地域の皆さまに感謝いたします。マップ作りを通し自分たちのまちの事を深く知る事ができました。また事故や危険を防ぐために、自分たちにできる事や地域との繋がりの大切さを学びました。子どもたちの意識の向上に繋がったと思います。



審査員特別賞

和歌山県かつらぎ町立丁ノ町児童館 ちよのまち かつらぎ防災ガールズ

学年 6年生

人数 3名

防災

評価されたポイント

地域性・テーマ性

用水路に落ちる危険を認識したことをきっかけとして、テーマを用水路に絞っており、とてもわかりやすい。

ビジュアル性

まちの中の2つの水源と危険箇所を、「青」と「緑」で色分けして表現しており、また、写真を活用することで本当に危険な所をわかりやすくまとめている。

提案性

子どもならではの視点で、子どもたちには危険性を、大人たちには改善して欲しい点をそれぞれ発信している。なお、すぐに改善が難しい事柄については、自分たちが注意できることも提案している。

教育効果性

まちの人々へのインタビューを通じて、まちについてさらに理解を深めた様子が伝わってくる。



VOICE

喜びの声/

チーム児童のみなさん

この受賞は二度目ですがとてもうれしいです。私たちは2年生から防災マップに挑戦しています。今年が小学校最後だったので、3人で力を合わせ、夏休みから頑張りました。身近な水の怖さを改めて思い知りました。

指導された
提案された
提 奈緒美
さん

低学年の時から、毎年真剣に防災マップに取り組んできた仲よしコンビです。夏休みからスタートし暑い中、まち探検をし苦労したマップです。私もいい時間を過ごせました。素晴らしい賞をいただく事ができて大変嬉しく思います。

和歌山県串本町立古座小学校 なかみなと 中湊なかよしたんけんたい

学年 4年生

人数 5名

防災

評価されたポイント

地域性・テーマ性

津波からの避難場所が近くの高校以外にないことなど、タイトルを見てテーマや地域の課題がわかるマップとなっている。

ビジュアル性

浸水エリアや避難経路のほか、車で避難できる場所や、歩いて避難する場所など、わかりやすく色分けしてまとめられている。

提案性

まちの人々への提案を、とにかく高台へ避難すること、避難場所ではプライバシーに気をつけること二段階で表現している。

教育効果性

避難の次のステップについての情報もまとめられているほか、避難所体験・生活や非常食の試食も行うなど、実体験を通じて学習した様子がうかがえる。



VOICE

喜びの声/

チーム児童のみなさん

みんなでいっしょに中湊を歩いて、インタビューをしたり、パーテーション作りをしたり、非常食を食べたりして、防災学習をしました。防災学習をもとにマップ作りをして、審査員特別賞になったので、うれしかったです。

指導された
提案された
谷瀬 智
さん

探検活動では、地域との結びつきが生まれました。子どもたちは1つでも多くの情報をマップに表現しようと話し合い、工夫を重ね仕上げていきました。このような賞をいただき、取り組みの結果が形となった事を嬉しく思います。

香川県仁尾町児童館 におっこ清掃探検隊

学年 1～4年生・中1

人数 15名

防災



評価されたポイント

地域性・テーマ性

水害にテーマを絞って、日常の活動の中で身近な川を探検しており、まちの自然と防災について調べている。

ビジュアル性

凡例が記載されており、学校・神社・図書館などのわかりやすいマークを使用することで、まちの様子や雰囲気が伝わってくる。

提案性

まちの人々へインタビューを行った結果から、津波によってまち全体が水に浸かってしまうことを再発見しているほか、災害時はどう行動するべきかを提案している。

教育効果性

消防署の職員から災害時の対応について学んでいるほか、災害時に使用するテントを実際に使ってみるなど、防災に関する体験を通じて学習した様子がうかがえる。

VOICE

喜びの声/

チーム児童のみなさん

今年も賞をいただき、本当にうれしいです。みんなでがんばってまちの川を清掃しながらできてよかったです。楽しかったです。地域の人からもたくさん教えてもらい勉強になりました。これからも続けて活動していきたいです。

指導された
三野 宏美
さん

昨年の入選で子どもたちも凄く自信を持ち、今年度も年間を通して防災を視点に更にたくさんの人とつながり活動する事ができました。活動を通し、たくさん事を学び地域への愛着も深まった事と思います。今年度も入選大変嬉しです。

愛媛県愛南町立城辺小学校 城の辺守り隊7

学年 5年生

人数 7名

防災



評価されたポイント

地域性・テーマ性

テーマを地震に絞り、津波や液状化の被害想定をしながら通学路を調べている。

ビジュアル性

津波の来る場所や、落下・倒壊の危険箇所が一目でわかるように色塗りされている。山や平地、道路、川なども色分けされており、まちの土地利用やまちの様子が伝わってくる。

提案性

行政指定の避難場所だけでなく、子どもたちの視点で新たな避難場所を見つけ出している。また、「3つの『こない』をチェック」や「揺れたら高台」など、合言葉で対策が提案されており、わかりやすい。

教育効果性

それぞれの場所の被害想定、震度、浸水深、浸水開始時間を細かく調べており、災害時の状況について具体的な数値を示してまとめられている。

VOICE

喜びの声/

チーム児童のみなさん

本校で初めて応募したマップが入選し、学年全員で大喜び！ ありがとうございます。買い物する場所で「今災害が起きたらどう行動するか」と考えるようになりました。そんな防災意識の高まり位、受賞の喜びは大きいです。

指導された
木原 要子
さん

マップ作りを通して安全に対する児童の意識に変化が見られ、自助・互助・共助の心を感じました。この有意義な活動を継続して心と力を育むとともに、入選の喜びを今後の校内・家庭・地域への啓発につなげます。

応募状況

表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	団体数	作品数	児童数	学校・団体名
北海道	23	124	781	北海道鶴居村立幌呂小学校／北海道別海町立上春別小学校／北海道札幌南区川沿少年消防クラブ／北海道子ども会育成連合会(事務担当者会議)／NPO法人すきっぷ「ふれあい教室」／ 発寒北少年消防クラブ／北海道苫小牧市立拓勇小学校／北海道浦幌町立浦幌小学校／ 放課後児童クラブ ふわっと／北海道えりも町立えりも岬小学校／北海道えりも町立東洋小学校／ 天塩町学童保育 こがら児童クラブ／円山公園探検隊／北海道札幌市立二条小学校／ 北海道奥尻町立青苗小学校／北海道札幌市立西宮の沢小学校(にしみやのさわ)／桜ヶ岡児童センター／ 北海道札幌市立新琴似北小学校／厚別あゆみクラブ児童育成会／北海道札幌市立白石小学校／ 4年生仲よし隊／北海道根室市立成央小学校／愛国東チーム
青森	1	9	82	青森県八戸市立根城小学校
岩手	15	23	216	やはば東こどもの家／岩手県奥州市立梁川小学校／黒沢尻23区子供会／岩手県紫波町立水分小学校／ 紫波町立日詰こどもの家／矢巾町西徳田1区子ども会(岩手県紫波郡)／岩手県盛岡市天昌寺子ども会／ 岩手県紫波町立星山小学校／南仙北二・三丁目町内会／赤沢地区こども会／岩手県盛岡市立繫小学校／ 岩手県盛岡市立厨川小学校 境田一区子供会／岩手県盛岡市立厨川小学校 境田二区子ども会／ 岩手県盛岡市南大通一丁目子ども会／岩手県洋野町立向田小学校
宮城	11	126	1,005	多賀城市ジュニアリーダー／防犯巡視員 歩く110番“友の会”(宮城県仙台市立上野山小学校)／ 仙台市立栗生小学校お父さん委員会／中山小おやじの会／宮城県富谷町立日吉台小学校／ 仙台市西山児童館／仙台市田子児童館／宮城県大崎市立高倉小学校／宮城県岩沼市立玉浦小学校／ 宮城県仙台市立高森東小学校／宮城県登米市立登米小学校
秋田	1	6	30	秋田県能代市立第五小学校
山形	4	7	54	山形県酒田市立広野小学校／山形県鶴岡市温海地区あつみ少年会／ ボーイスカウト山形市第1団カブスカウト隊・ビーバースカウト隊／嶋北子ども育成会
福島	6	16	118	本宮第一児童館・キッズボランティアクラブ／福島県相馬市立飯豊小学校／福島県いわき市立永崎小学校／ 社会福祉法人報徳会 相馬市川原町児童センター／相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ かもめクラブ／ 福島県耶麻郡猪苗代町立吾妻小学校
茨城	4	21	150	やちよエコクラブ／茨城県牛久市立牛久小学校／茨城県常総市東町子ども会／茨城県水戸市立大場小学校
栃木	7	59	654	栃木県那須町立那須小学校 5年部会／栃木県宇都宮市立中央小学校／栃木県日光市立大沢小学校／ 日本ボーイスカウト栃木県連盟鹿沼第4団カブ隊／栃木県日光市立轟小学校／栃木県下野市立石橋小学校／ 栃木県宇都宮市立明保小学校
群馬	5	14	67	群馬県高崎市立金古小学校／群馬県渋川市立渋川南小学校／緑町探検隊／ ガールスカウト群馬県連盟第76団／元気もりもり隊
埼玉	14	181	756	埼玉県鴻巣市立赤見台第一小学校／埼玉県伊奈町立小針北小学校／埼玉県幸手市立行幸(みゆき)小学校／ 埼玉県八潮市立大瀬小学校／埼玉県狭山市立御狩場小学校／ボーイスカウト春日部第9団カブ隊／ 埼玉県北葛飾郡杉戸町立高野台小学校／ボーイスカウトさいたま第104団カブ隊／ 埼玉県鴻巣市立大芦小学校／埼玉県上尾市立上平北小学校／埼玉県加須市立種足(たなだれ)小学校／ 見沼区4丁目守り隊
千葉	38	327	2,296	千葉県我孫子市立高野山小学校／千葉県市川市立宮田小学校／特定非営利活動法人光と風／ 千葉県成田市立三里塚小学校／千葉県市原市立国分寺台西小学校／千葉県市原市立ちはら台桜小学校／ 千葉県流山市立向小金小学校／千葉県いすみ市立大原小学校／千葉県習志野市立屋敷小学校／ 千葉県千葉市立西小中台小学校／千葉県長生郡睦沢町立土睦小学校／千葉県市原市立青葉台小学校／ 千葉県松戸市立松ヶ丘小学校／千葉県市原市立光風台小学校／千葉県香取市小見川中央小学校／ ガールスカウト千葉県第91団／千葉県四街道市立山梨小学校／千葉県我孫子市立湖北小学校／ 千葉県千葉市立登戸小学校／千葉県船橋市立宮本小学校6年／千葉県鴨川市立田原小学校第4学年／ 千葉県四街道市立大日小学校／千葉県四街道市立みそら小学校／千葉県香取郡東庄町立神代小学校／ 千葉県八街市立八街東小学校／千葉県成田市立桜田小学校／千葉県君津市立大和田小学校／ 千葉県我孫子市立湖北台東小学校／千葉県白井市立南山小学校／千葉県白井市立大山口小学校／ 千葉県木更津市立真舟小学校／千葉県佐倉市立白銀小学校／千葉県鴨川市立江見小学校／ 千葉県茂原市立西小学校／千葉県館山市立北条小学校4年／千葉県成田市立本城小学校／ 千葉県市原市立石塚小学校／千葉県市原市立加茂小学校
東京	60	501	3,332	牛込消防少年団／向島消防少年団／東京都町田市立町田第一小学校／東京都豊島区立富士見台小学校／ 多摩消防少年団／東京都豊島区立西巣鴨小学校／小金井消防少年団／東京都豊島区立要小学校／ 日野消防少年団／東京都練馬区立大泉小学校／青梅消防少年団／東京都大田区立洗足池小学校／

表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	団体数	作品数	児童数	学校・団体名
東京	60	501	3,332	東京都杉並区立天沼小学校／東京都国立市立国立第四小学校／小岩消防少年団／東京都八王子市立清水小学校／ 本田消防少年団 ／東京都福生市立福生(ふっさ)第二小学校／荒川消防少年団／東京都江戸川区立第四葛西小学校／ 東京都江戸川区立第六葛西小学校 ／東京都目黒区立碑小学校／東京都日野市立日野第六小学校／浅草消防少年団／城東消防少年団／えびすファミリーデー 2016／東京都八王子市立恩方第二小学校／ 富士見キッズ ／台東区社会福祉事業団台東児童館／東京都八王子市立中野北小学校／東京都練馬区立立野小学校／東京都江戸川区立西小岩小学校／八王子消防少年団／東京都足立区立伊興小学校／台東区立千束児童館／ 東京都北区立なでしこ小学校 ／東京都八王子市立由木西小学校／ 高輪消防少年団 ／東京都板橋区立高島第一小学校／ボーイスカウト北第1団／東京都江戸川区立新堀小学校／本所消防少年団／南町キッズたい／国分寺消防少年団／東京都杉並区立杉並第一小学校／秋葉原昌平小学校探検隊／板橋消防少年団／麴町小ワークわく・クラブ／天空(そら)の丘／東京都八王子市立由井第一小学校／東京都板橋区立蓮根第二小学校／小宮久保子供会／東京都板橋区立志村第四小学校／新宿区立戸塚第二小学校／東京都新宿区立戸塚第一小学校／東京都府中市立府中第二小学校／東京都府中市立府中第四小学校／東京都府中市立府中第十小学校／東京都豊島区立長崎小学校／東京都府中市立府中第六小学校
神奈川	24	78	625	ガールスカウト神奈川県第18団ブラウニー部門／神奈川県横浜市立豊田小学校／保土ヶ谷区青少年指導員協議会岩井町原地区／王禅寺こども文化センター／ボーイスカウト横浜130団カブ隊／大和市少年消防団／あらかわ特戦隊／ガールスカウト神奈川県第79団／公益財団法人かわさき市民活動センター宮内こども文化センター／神奈川県茅ヶ崎市立緑が浜小学校／ ガールスカウト神奈川県第53団 ／神奈川県伊勢原市立成瀬小学校／川崎市金程小学校わくわくプラザ／神奈川県座間市立東原小学校 パリカン探検隊／公益財団法人かわさき市民活動センター 平こども文化センター／神奈川県厚木市立森の里公民館(地域子ども教室)／神奈川県鎌倉市立西鎌倉小学校／公益財団法人かわさき市民活動センター 枳形こども文化センター／ 公益財団法人かわさき市民活動センター 下平間こども文化センター ／下瀬谷団地探検隊／神奈川県横浜市立さつきが丘小学校／日進町こども文化センター／公益財団法人かわさき市民活動センター 渡田こども文化センター／日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜みなと地区横浜第114団カブスカウト隊
新潟	18	29	210	東っ子 Boy's / 針地区探検隊／ワンピー探検隊／寺尾朝日通探検隊／ 塩沢金城わかば児童館 ／新潟県南魚沼市立五日町小学校／新潟県長岡市立神田小学校／新潟県新潟市立笠木小学校／新潟県新発田(しばた)市立二葉小学校／Manzoumeh Kherad Institute / Saba Educational Institute / Fong-si Junior High School / SMP Islam Al Azhar 9 / Leongetha Prinmary School / Industrial Insitiute Simon Duque, Normal Institute of Mary, San Antonio / Wild cats,Emine Örnek School / Fong-si Junior High School / Xinzhou Primary School, Shixia Middle School, Mingde Experimental School
富山	3	18	122	富山県立山町立釜ヶ淵小学校／ 富山県滑川市立北加積小学校防災探検隊 ／富山県富山市立古里小学校
石川	52	69	520	石川県加賀市立南郷小学校／石川県小松市立那谷(なた)小学校／石川県金沢市立十一屋小学校／かほく市子ども会 高松支部 南新町子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 木津つば子ども会 ／かほく市子ども会 七塚支部 はまなす子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 松浜みどり子ども会 ／かほく市子ども会 七塚支部 ひばり子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 白百合子ども会 ／かほく市子ども会 七塚支部 若草子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 青空子ども会／かほく市子ども会 高松支部 古宮町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 中沼子ども会／かほく市子ども会 高松支部 下伊丹町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 岸川子ども会／かほく市子ども会 高松支部 学園台子ども会／かほく市子ども会 高松支部 双葉子ども会／かほく市子ども会 高松支部 東町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 瀬戸町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 桜井町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 上北町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 ／かほく市子ども会 高松支部 北新・北中子ども会／かほく市子ども会 高松支部 長柄町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 北新・北中子ども会／かほく市子ども会 高松支部 流川町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 六軒町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 元町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 夏栗子ども会 ／かほく市子ども会 高松支部 大海東子ども会／かほく市子ども会 高松支部 旭町子ども会／かほく市子ども会 高松支部 上伊丹町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 森子ども会 ／かほく市子ども会 宇ノ気支部 向野子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 七窪子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 本町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 曙町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 中町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇野家旭町子ども会 ／かほく市子ども会 宇ノ気支部 指江子ども会 ／かほく市子ども会 宇ノ気支部 大橋子ども会 ／かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 余地子ども会

応・募・状・況

表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	団体数	作品数	児童数	学校・団体名
石川	52	69	520	かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 宇気子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 鉢伏子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 大崎子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 上田名子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会
福井	8	54	282	福井県あわら市立伊井小学校 5年生 少年消防クラブ／青少年育成市民会議明新支部 & 福井市立明新小学校 PTA／福井県越前市立武生西小学校／福井県坂井市立高椋小学校／福井県坂井市立三国北小学校／福井県坂井市立大石小学校／福井県小浜市立内外海小学校／福井県越前市吉野小学校
山梨	3	6	40	山梨県笛吹市立春日居小学校／ボーイスカウト山梨連盟富士吉田第1団ビーバー隊・カブ隊／和泉クラブ
長野	11	25	196	長野県松本市立二子小学校／長野県長野市立芋井小学校／長野県飯田市立千代小学校 6年生／元町児童館／安曇野防犯協会連合会／NPO 法人ワーカーズコープ 南郷児童館／塩田探検隊／伊那市立伊那小学校 5年忠組の友達／NPO 法人ワーカーズコープ 岡田児童センター／中山児童センター／長野県松本市内田児童館
岐阜	8	230	454	岐阜県郡上市立大和北小学校／岐阜県美濃加茂市立山手小学校／岐阜県可児市立広見小学校／滝呂台12丁目子ども会／コモンキッズ子ども会／岐阜県養老郡養老町立広幡小学校／ごっちゃん探検隊／岐阜県岐阜市立本荘小学校
静岡	12	144	697	ガールスカウト静岡県第24団／公益社団法人ガールスカウト日本連盟静岡県第22団・第26団／静岡県静岡市立清水興津小学校／静岡県伊東市立大池小学校／静岡県焼津市立焼津西小学校／静岡県静岡市立清水三保第一小学校／静岡県静岡市立清水岡小学校／ガールスカウト静岡県第34団／学童保育ひまわりクラブ／KYT／徳倉探検隊／静岡県静岡市立南藁科小学校
愛知	27	91	1,262	愛知県稲沢市立高御堂小学校／愛知県北名古屋市立師勝北小学校／ボーイスカウト稲沢第3団／愛知県名古屋市中村区則武学区連絡協議会 ほのか小学校／愛知県碧南市立棚尾小学校／名城 KIDS FIRE GUARD／橘 KIDS FIRE GUARD／正木 KIDS FIRE GUARD／日本ボーイスカウト愛知連盟尾張東地区春日井第2団 ビーバー隊／名古屋市立引山小学校トワイライトスクール／名古屋市立平針小学校トワイライトスクール／戸笠トワイライトスクール／ファミリーチーム／愛知県半田市立成岩(ならわ)小学校／愛知県西尾市立一色中部小学校／日本ボーイスカウト愛知連盟大治第一団 カブ隊／犬山市少年消防クラブ／平手北キッズ／千種探検隊／松が根会／岩戸町会／春日井市立春日井小学校 黒銚会／ムライ探検隊／太陽探検隊／R・E・D／愛知県豊田市立足助小学校／愛知県豊田市立若林東小学校
三重	8	36	339	あらっこ放課後子ども教室／かもっこ放課後子ども教室／下大久保町少年消防クラブ／三重県志摩市立和具小学校／放課後児童クラブ たつの子会／鳥羽市安楽島子ども会／三重県鳥羽市立加茂小学校／たて FC
滋賀	7	54	589	滋賀県野洲市社会福祉協議会 三上学童保育所／社会福祉法人 友愛第二児童館／新旭学童保育所 トライアングル／児童育成クラブ のびっ子洪川／児童育成クラブのびっ子笠縫東／滋賀県近江八幡市立馬淵小学校／滋賀県守山市立速野小学校
京都	11	79	522	京都府綾部市立中筋小学校／京都府立洛北高等学校 生徒会、京都市葵児童館学童クラブ3、4年生合同／京都府京都市立養徳小学校／京都市川岡東児童館／京都府京都市立砂川小学校／京都府京都市立朱雀第六小学校／京都府京都市立朱雀第一小学校／京都府綾部市立綾部小学校／京都市立楽只小学校・京都市楽只児童館／京都府舞鶴市立倉梯小学校／銅駝自治連合会と子供たち
大阪	13	65	330	白鷺町防災探検隊／大阪府堺市立原山台東小学校／友渕ファイターズ／堺市立中百舌鳥小学校放課後ルーム／堺市立東深井小学校放課後ルーム／大阪府大阪市立城北小学校／大阪府大阪市立東粉浜小学校／大阪府大阪市立舎利寺小学校／大阪府池田市立池田小学校／ボーイスカウト大阪第94団 カブスカウト隊／ガールスカウト大阪第21団(エコクラブ)／堺市立五箇荘東小学校放課後ルーム／3-2 仲良し GirlsHNL
兵庫	7	31	238	兵庫県神戸市立真野小学校／有野台児童館／兵庫県洲本市立由良小学校 防災たんけん隊／兵庫県明石市立鳥羽小学校／兵庫県三木市立口吉川小学校／兵庫県神戸市立水木小学校／松村ファミリー
奈良	3	4	36	日本ボーイスカウト奈良県連盟橿原第1団 カブ隊／ガールスカウト奈良県第22団／金太郎子ども会 防災探検隊

表中の緑文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	団体数	作品数	児童数	学校・団体名
和歌山	6	39	247	和歌山県新宮市立三輪崎小学校／和歌山県橋本市立応其小学校／和歌山県かつらぎ町立丁ノ町児童館／和歌山県串本町立古座小学校／和歌山県有田郡広川町立広小学校／和歌山県有田市立保田小学校
鳥取	2	9	35	鳥取県倉吉市立成徳小学校／鳥取県倉吉市立高城小学校
島根	7	14	68	松江市立意東小学校はなみずき通学班／隠岐船越なかよし安全隊／嫁島／田中チーム／市木のおはなし会よむよむ／島根県浜田市立松原小学校3年生／地域自主組織 新市いきいき会
岡山	5	10	66	和気町子ども塾／緑丘児童クラブ／茂浦・富崎子ども会／芳泉学区交通安全対策協議会／岡山県瀬戸内市立牛窓東小学校
広島	5	26	198	広島県呉市立原小学校／亀崎学区少年消防クラブ／府中町少年少女消防クラブ／神辺っ子ぼうさい探検隊／広島県広島市立五日市南小学校
山口	4	90	485	山口県岩国市立岩国小学校／山口県防府市立玉祖小学校／山口県岩国市立柱野小学校／山口県下関市立向井小学校
徳島	7	29	180	徳島県吉野川市立上浦小学校／徳島県徳島市応神小学校／徳島県阿南市福井児童クラブ／徳島県徳島市佐古小学校／徳島県小松島市立江小学校／徳島市佐古小学校防災探検隊／徳島県阿南市立津乃峰小学校
香川	8	52	592	二番丁地区コミュニティ協議会／香川県仁尾町児童館／白方地区児童館／お茶の木プロジェクト実行委員会／香川県丸亀市立飯山北小学校／香川県さぬき市立さぬき南小学校／香川県仲多度郡まんのう町高篠地区／香川県高松市立中央小学校
愛媛	8	18	105	愛媛県愛南町立中浦小学校／愛媛県愛南町立城辺小学校／愛媛県愛南町立緑小学校／愛媛県今治市立吹揚小学校吹揚防災探検隊／愛媛県愛南町立僧都(そうず)小学校／愛媛県愛南町立船越小学校／愛媛県愛南町立東海小学校／愛媛県愛南町立家串小学校
高知	7	16	75	高知県本山町立吉野小学校／高知県本山町立本山小学校／高知県高岡郡四万十町立興津小学校／高知県土佐清水市立中浜小学校／高知県南国市立奈路小学校／高知県土佐市立波介小学校／児童養護施設 子供の家
福岡	7	10	122	八女市黒木少年消防クラブ／若園校区蜷田子ども会／東光寺町探検隊／北九州市 福祉事業団 風師児童館／三愛ウォーキングクラブ／曾根校区まちづくり協議会青少年育成部会／福岡県宗像市立河東西小学童保育所
佐賀	2	3	13	佐賀県伊万里市黒川公民館／佐賀県佐賀市立北川副小学校
長崎	3	9	52	竹一自治会／長崎県南島原市立深江小学校 4年1組／長崎県長崎市立三重小学校放課後子供教室 チームみたま
熊本	2	10	56	熊本県球磨村立渡小学校4年生／熊本県八代市立郡築小学校
大分	4	7	76	大分県佐伯市立上入津小学校／吉野児童育成クラブ／大分県大分市立春日町小学校／ポラリス児童クラブ
宮崎	6	8	153	社会福祉法人愛育福祉会 こばと児童館・児童クラブ／社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご WEC 児童クラブ／社会福祉法人つくしんぼ児童クラブ／西都市児童館 どんぐりっ子クラブ／宮崎県延岡市立北浦小学校／宮崎南小学校少年消防クラブ
鹿児島	2	16	93	鹿児島県湧水町立幸田小学校／鹿児島県出水市立高尾野小学校
沖縄	37	78	539	みどり町児童センター／沖縄県竹富町立白浜小学校／沖縄県那覇市久場川児童館／那覇市壺屋児童館／沖縄県豊見城市豊崎児童クラブ／浦添市立まちなと児童センター／沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター／浦添市立浦城っ子児童センター／那覇市若狭児童館／沖縄県石垣市立大浜小学校／志茂田児童クラブ／ひばり放課後児童クラブ／みやび児童クラブ／役所前児童クラブ／沖縄県竹富町立船浦中学校、沖縄県竹富町立上原小学校／西原町呉屋区子供会／沖縄県渡名喜村立渡名喜小学校／北山学園学童所／安里カズズ／沖縄県糸満市立糸満南小学校／なかよし放課後児童クラブ／糸満がじゅまる児童センター／汀良(てら)児童クラブ／沖縄県那覇市立城東小学校／沖縄県沖縄市泡瀬地区海の子子ども会／チームやぎブラザーズ／沖縄県石垣市立宮良小学校／放課後児童クラブおやこぼし学園／放課後児童クラブぐすくべ／沖縄県宜野湾市立赤道児童センター／沖縄市古謝地区子ども会／長田児童クラブ／沖縄県浦添市立宮城っ子児童センター／キッズくらぶクローバー／沖縄県宮古島市立南小学校／沖縄県浦添市立うらそえぐすく児童センター

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

過 ■ 去 ■ の ■ 入 ■ 選 ■ 一 ■ 覧

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第8回～第12回まで)

※「 」内はチーム名です。

参加団体数 マップ数・児童数	第8回(2011年度) 344団体 (158校・186団体) 1,643作品 10,791名	第9回(2012年度) 417団体 (213校・204団体) 2,018作品 13,477名
文部科学大臣賞	宇和島市立蔦淵小学校 「大島守り隊ガールズ」 (6年生/愛媛県)	愛南町立福浦小学校 「風の子ファイブ」 (6年生/愛媛県)
防災担当大臣賞	相馬市川原町児童センター 「みつばち・かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	玉川消防少年団 「玉川消防少年団ぼうさい探検隊」 (4～6年生/東京都)
消防庁長官賞	日本橋消防少年団 「阪本シスターズ」 (5年生/東京都)	高瀬少年消防クラブ 「6年生チーム」 (6年生/大分県)
まちのぼうさいキッズ賞	ガールスカウト日本連盟千葉県第3団 「ミラクルレインボー」 (5・6年生/千葉県)	那覇市立開南小学校 「いつでもどこでもえがおチーム」 (1年生/沖縄県)
気象庁長官賞		
キッズリスクアドバイザー賞		
未来へのまちづくり賞	あわら市吉崎小学校 「吉崎赤手ガニ防災隊」 (4～6年生/福井県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2～6年生/三重県)
わがまち再発見賞	那覇市久場川児童館 「いっぺいじょうとう」 (1年生/沖縄県)	大崎地域広域行政事務組合加美消防署 「宮城県カップのふるさと色麻町」 (5年生/宮城県)
ぼうさい探検隊賞	別海町立上春別小学校 「上春キッズ探検隊」 (3年生/北海道)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「チームせんべい」 (5・6年生/埼玉県)
審査員特別賞	東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 (5年生/茨城県)	東京都立城南特別支援学校 「すずらんグループ」 (1～6年生/東京都)
	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (4～6年生/埼玉県)	あわら市本荘小学校 「本荘ガールズ8」 (5年生/福井県)
	目黒消防少年団 「目黒消防少年団」 (1～6年生/東京都)	あわら市細呂木小学校 「細呂木マモルンジャー」 (5年生/福井県)
	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (3～5年生/長野県)	船越少年消防クラブ 「船越少年消防クラブ」 (5・6年生/三重県)
	船越少年消防クラブ 「船越少年消防クラブまちなか探検隊」 (4～6年生/三重県)	かつらぎ町丁ノ町児童館 「かつらぎあんぜんキッズ」 (2年生/和歌山県)
	城陽少年消防クラブ 「城陽少年消防クラブ」 (6年生/京都府)	下関市立豊浦小学校 「しものせきいしんたんけんたい」 (3年生/山口県)
	土佐清水市立下ノ加江小学校 「なかよし4人組」 (5年生/高知県)	宇和島市立蔦淵小学校 「防災キッズ6」 (6年生/愛媛県)
	奄美市立大川小学校 「奄美大川防衛隊」 (5・6年生/鹿児島県)	四万十町立興津小学校 「興空」 (5・6年生/高知県)

第10回(2013年度) 449団体 (179校・270団体) 2,191作品 13,728名	第11回(2014年度) 511団体 (235校・276団体) 2,267作品 17,187名	第12回(2015年度) 588団体 (244校・344団体) 2,506作品 16,833名
愛南町立福浦・小学校 「風の子サポーターズ」 (5・6年生/愛媛県)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「南区川沿大雨みまもりたい」 (5・6年生/北海道)	愛南町立東海小学校 「海っ子セーブ隊」 (5・6年生/愛媛県)
宇和島市立蔦淵小学校 「矢が浜守り隊」 (5・6年生/愛媛県)	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ「かもめ防災探検隊」 (2・3年生/福島県)	入山防災を学ぼうクラブ 「ひまわり探検隊」 (2・3・5・6年生/和歌山県)
札幌東月寒少年消防クラブ 「しらかばガールズ」 (5・6年生/北海道)	愛南町立福浦小学校 「風の子ダイヤモンドズ」 (3・4年生/愛媛県)	本山町立吉野小学校 「吉野チーム」 (5・6年生/高知県)
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2~6年生/三重県)	糸満市立糸満がじゅまる児童センター 「イチマンがじゅまるチーム」 (1・2・5年生/沖縄県)	下関市立豊浦小学校 「下関維新探検隊」 (1・2・6年生/山口県)
	鹿嶋市立平井小学校 「平井っ子 防災探検隊」 (6年生/茨城県)	豊平区月寒少年消防クラブ 「三代目月寒ぼうさい探検隊」 (1・2・4・6年生・中1/北海道)
	ガールスカウト千葉県第3団ジュニア部門 「西船 KIDS」 (4年生/千葉県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会 「狩鹿野子ども会」 (3~6年生/石川県)
宮古島市立上野小学校 「いみっちゃんフラワー」 (1・2年生/沖縄県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1~6年生/三重県)	愛南町立中浦小学校 「中浦っ子みんなの命守り隊 尻貝チーム」 (4~6年生/愛媛県)
みんなでまなぼうさい和歌山県美浜町中央公民館 「ひまわり防災探検隊」 (3~6年生/和歌山県)	ガールスカウト神奈川第53団 「GS KANAGAWA 53」 (2・4・5年生/神奈川県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1・3・4・6年生/香川県)
東温市立東谷小学校少年消防クラブ 「東谷少年消防クラブ」 (4~6年生/愛媛県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部内日角子ども会(青葉・青空) 「内日角守り隊」 (6年生/石川県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (2・3年生/福島県)
相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (3年生/福島県)	豊平区月寒少年消防クラブ 「月寒ぼうさい探検隊」 (1・3・5・6年生/北海道)	ガールスカウト神奈川第53団 「GS KANAGAWA 53」 (1・3・5・6年生/神奈川県)
日立市立金沢小学校 「金沢元気キッズ」 (5年生/茨城県)	清水有度少年教室 「ひまわり探検隊」 (4~6年生/静岡県)	かほく市子ども会 高松支部 岸川町子ども会 「岸川町子供会」 (5・6年生/石川県)
ガールスカウト千葉県第3団 「西船 KIDS」 (3・6年生/千葉県)	小浜市立口名田小学校 「口名田小学校4年生」 (4年生/福井県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2~6年生/三重県)
東京都立城南特別支援学校 「城南すずらんグループ」 (1・2・4・6年生/東京都)	野洲市社会福祉協議会北野学童保育所 「北野っ子」 (6年生/滋賀県)	船越なかよし安全たい 「船越なかよし安全たい」 (1・3年生/島根県)
平塚市立八幡小学校 「チーム・ハト」 (6年生/神奈川県)	高島市マキノ町区子供会 「区子供会」 (2・4・5年生/滋賀県)	緑丘児童クラブ 「SUMMER 探検隊」 (5・6年生/岡山県)
かほく市子ども会高松支部内高松子ども会 「チーム UTITAKA」 (6年生/石川県)	橋本市立応其小学校 「いのちをまもる」 (6年生/和歌山県)	宇和島市立蔦淵小学校 「高齢者守り隊」 (5・6年生/愛媛県)
かほく市子ども会高松支部瀬戸町子ども会 「瀬戸町子ども会」 (1~6年生/石川県)	府中町少年少女消防クラブ 「府中町 女子チーム」 (3~5年生/広島県)	座安小見回り探検隊 「座安っこ見回り探検隊」 (1・3~5年生/沖縄県)
小浜市立口名田小学校 「口名田小学校3年生」 (3年生/福井県)	愛南町立緑小学校 「ぼうさいグリーン隊Cチーム」 (5・6年生/愛媛県)	豊見城市役所前児童クラブ 「琉球 Boys」 (5年生/沖縄県)

これまでの13年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている小学校・団体(13回のうち7回以上のご参加)は以下のとおりです。

応募回数	学校・団体名
13回連続	愛知県豊田市立足助小学校
12回	福島県相馬市川原町児童センター／東京都江戸川区立西小岩小学校／三重県鳥羽市安楽島子ども会
11回	岩手県盛岡市南仙北地区南仙北2・3丁目子ども会／ガールスカウト大阪府第21団
10回	東京都江戸川区立第六葛西小学校／東京都千代田区立麴町小学校 ワーク・わく・クラブ／東京都大田区立洗足池小学校／ガールスカウト神奈川県第53団／神奈川県横浜市保土ヶ谷区青少年指導員連絡協議会 岩井町原地区／ガールスカウト静岡県第34団／広島県府中町少年少女消防クラブ／高知県高岡郡四万十町立興津小学校／長崎県南島原市立深江小学校
9回	神奈川県相模原市立富士見小学校／神奈川県厚木市立森の里公民館(地域子ども教室)／ボーイスカウト山梨連盟富士吉田第1団ビーバー隊／愛知県正木 KIDS FIRE GUARD／愛知県橘 KIDS FIRE GUARD／京都府京都市立砂川小学校／宮崎県社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご WEC 児童クラブ／鹿児島県出水市立高尾野小学校
8回	北海道帯広希望の星「ふれあい教室」(NPO 法人すきっぷ「ふれあい教室」)／岩手県紫波町立水分小学校／ボーイスカウト山形第43団カブスカウト隊・ビーバースカウト隊／茨城県坂東市立中川小学校／日本ボーイスカウト栃木県連盟鹿沼第4団カブ隊／埼玉県上尾市立上平北小学校／神奈川県厚木市立清水小学校／静岡県静岡市立清水興津小学校／静岡県静岡市立清水飯田小学校／三重県かもっこ放課後子ども教室／愛媛県愛南町立東海小学校／沖縄県浦添市まちなと児童センター
7回	北海道札幌市立桑園小学校／福島県相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ／東京都浅草消防少年団／東京都足立区立伊興小学校／東京都板橋区立高島第一小学校／東京都国分寺消防少年団／東京都調布市立第一小学校／東京都杉並区立天沼小学校／東京都江東区立東川小学校／東京都葛飾区立青戸小学校／東京都日本橋消防少年団／千葉県船橋市立習志野台第一小学校／長野県安曇野防犯協会連合会／愛知県飛鳥村子ども会／兵庫県三木市立口吉川小学校／香川県丸亀市立城辰小学校／宮崎県延岡市立延岡小学校／沖縄県石垣市立大浜小学校／沖縄県糸満がじゅまる児童センター／沖縄県那覇市久場川児童館

今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。

一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	共栄火災海上保険株式会社	トーマ再保険株式会社
アイペット損害保険株式会社	ジェイアイ傷害火災保険株式会社	日新火災海上保険株式会社
アクサ損害保険株式会社	セコム損害保険株式会社	日本地震再保険株式会社
朝日火災海上保険株式会社	セゾン自動車火災保険株式会社	日立キャピタル損害保険株式会社
アニコム損害保険株式会社	ソニー損害保険株式会社	富士火災海上保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社	そんぼ24損害保険株式会社	三井ダイレクト損害保険株式会社
SBI損害保険株式会社	大同火災海上保険株式会社	明治安田損害保険株式会社
aU損害保険株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	

2017年2月現在(会員会社26社50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <http://www.sonpo.or.jp/>
(お問い合わせ) 生活サービス部 TEL: 03-3255-1215 FAX: 03-3255-1236



この冊子は再生紙を使用しています